

# 利賀っ子だより



R3. 12. 8

## ○ 環境を整える

12月に入り、小中合同の漢字・計算大会が行われたり、まとめのテストが実施されたりして、2学期のまとめの時期になりました。

そんな中、校内のあちこちに季節を醸し出す掲示物が目に留まります。豊かな色彩やちょっとした工夫のある掲示物もあり、その場の雰囲気明るくなります。また、掲示物をきっかけに「家にもクリスマスツリー出したよ。」「お母さんと百人一首の練習を始めたよ。今年は、20枚が目当て。」などと子供たちの会話が広がっていく様子も見られました。



「家庭学習コーナー」

本校では、毎月実施している家庭学習強調週間中に「自分が一番がんばった」と思うページのコピーを掲示しています。どんな内容の勉強をしているのか、どんなまとめ方をしているのかを互いに見ることで、よりよいノートづくりに意欲が高まったり、興味を広げたりすることができるのではないかと考えています。全校の分を掲示してありますので、上の学年が下学年の丁寧な文字を見て、刺激を受けたり、上の学年のノートを見て、「予習」ということを学んだりしています。

一輪車置き場の一輪車が、乱雑になっていることを気にしていたHさん。掃除の時間のたびに整頓していました。児童玄関の下足入れのシール作戦（利賀っ子だより11. 1参照）を思い出して、一輪車と一輪車の台にシールを貼っていました。その後は、すっきりとした状態が保たれています。

学習の時間だけではなく、子供たちの生活の場を整えることも、子供たちの感情を動かし、育てる大切な機会であることを感じています。

「Hさんが整えた一輪車置き場」



(高田 公美)